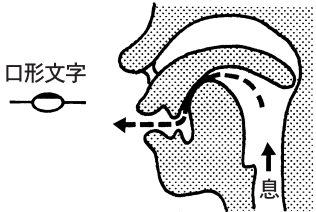


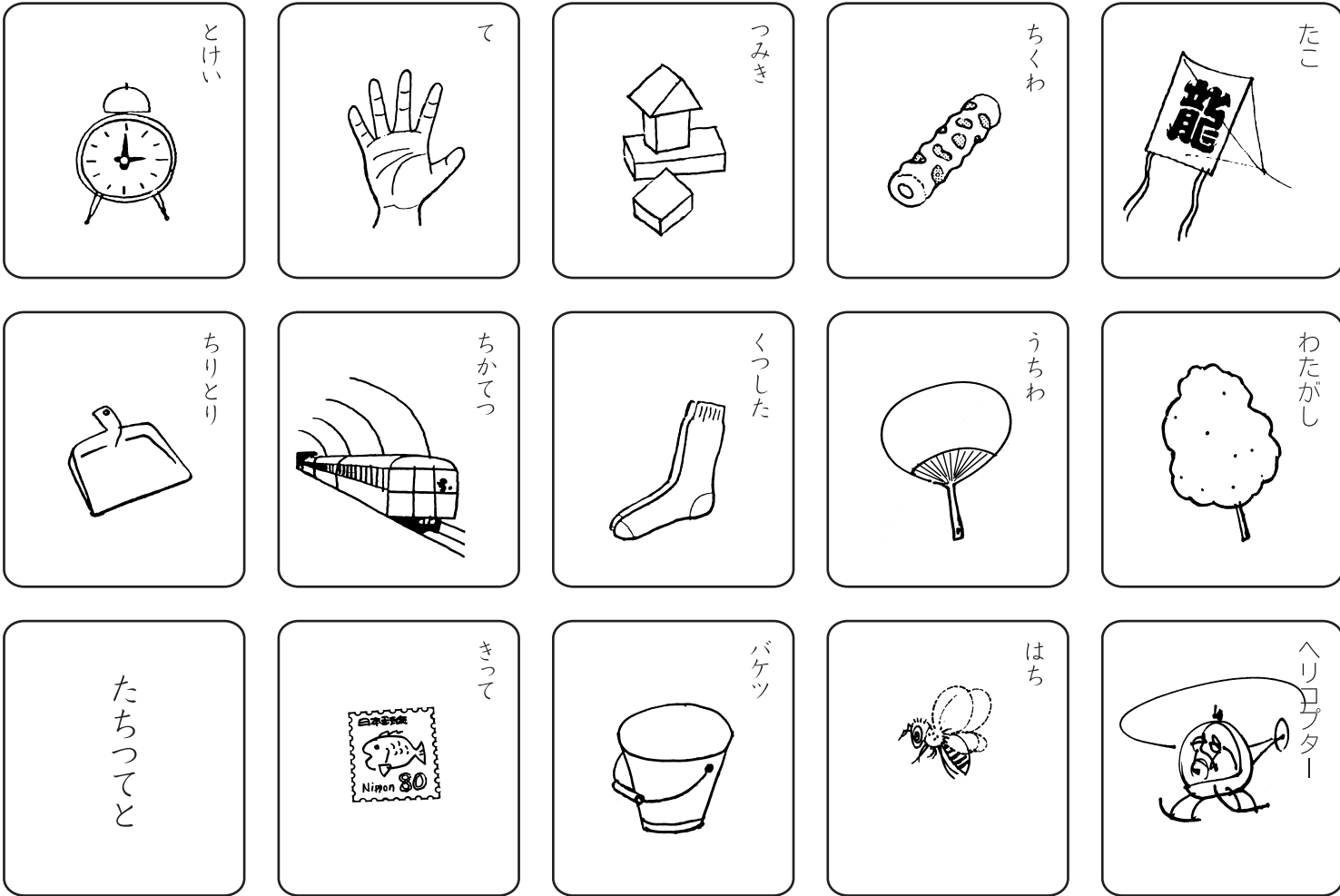
「ツ」の発音が難しい場合

ツの子音"ts"は、破裂音"t"に摩擦音"s"が加わってひとつになった破擦音である。舌先を上歯茎に接着させると同時に舌端部にわずかな隙間を作り、前舌面が硬口蓋をわずかに摩擦(滑らす)するときに出る無声音。同じタ行でもタ・テ・トの子音"t"が舌端で音を破裂させるだ



けなのに比べツの構音は複雑で幼児には難しい音である。4歳から4歳半の頃に完成するのがふつうだが少し遅れる場合もある。未完成な段階ではチュで代用されることがよく見られる。

発音の指導では、発声よりも聴き分けの練習を優先させる。聴き分けができればいずれ発音ができるようになるのが一般的。また、言い直しをさせるなど子どもの言葉に直接さわって神経過敏にするのも禁物である。子どもの言葉を受容した上で正しい発音を返して聴かせるのが基本。



はつきり、
 げんきよく、
 いえるかな。
 さいごに
 「たちつてと」って
 いてみよう。



1) 絵の単語を指させ、構音(発音)をチュエツク。
 「ツ」が「チュ」になることがある。解説を参照。
 2) 正しい発音を聴かせ、復唱は無理のない範囲で。
 3) 「たちつてと」の音列をくり返し言わせて、覚えさせる。

a) タ行の構音チュエツクとタ行の音列習得を意図した課題。
 b) 五十音の行を覚えることは、多様な課題の準備となる。
 c) 語彙。
 d) 解説の図に「口形文字」とあるのは、構音の構造を簡略な図に表した記号。